

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2000

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



四国山の日

No.1075 2009年10月号



第2回

森林ボランティア活動 入門講座開催される



屋外実習では、チェーンソーの目立て方法と、チェーンソーを使っての立木の伐採を行ないました。

【詳細は2頁以降に掲載】





九月一三日、香美市の高知県立甫喜ヶ峰森林公園において、「森林ボランティア活動入門講座」(延べ三日間の二日目)を開催しました。

今回は、受講者一二名のうち一名が参加し、香美森林組合と森林ボランティア団体の「森の応援団・さんりん倶楽部」の協力をいただいて実施しました。

午前中は、屋内での講義として、森の応援団・さんりん倶楽部の永野俊彦氏から、高知県の森林ボランティア団体の現状について説明していただき、続いて、香美森林組合の森本業

務課長から、チェンソーの安全な取扱方法について、DVDの映像を交えてわかりやすく説明していただきました。

午後からは、屋外での実習として、チェンソーの目立て方法を学ぶとともに、実際にチェンソーを使って、立木の伐採を行いました。受講者は、チェンソーの使用も山の現場に入ることも初体験の方が多く、緊張しながら作業に当たっていました。受講者からは、「山の仕事の大変さを実感した。」「チェンソーを使うのは面白いが、取扱いの難しさがわかった。」といった感想が聞かれました。

今回の講座では、山の作業の大変さを実感しつつも、その面白さについても感じてもらったものと考えています。

この講座は、一月に、木材利用について学び終了します。



チェンソーを使って伐採を初体験

森林ボランティア活動入門講座

《指導普及課》

森の未来に出会う旅

建築学科在籍の大学生等のセミナー開催

《指導普及課》

「森の未来に出会う旅」が、平成二二年八月二三日から八月三〇日までの日程で、高知県本山町汗見川ふれあいの郷清流館で開催されました。

本セミナーは、平成一九年度から実施されており、今年度で三回目となります。森の未来に出会う旅実行委員会が主催しており、本実行委員会には、学生団体、嶺北木材協同組合、(社)高知県森と緑の会、(社)高知県建築設計監理協会、嶺北林業振興事務所、木と人の出会い館NPO法人嶺北活性化機構とともに、四国森林管理局も実行委員会に参加して支援しています。

建築学科等に在籍している学生達を対象に木造建築や木材流通の流れ、林業などを学ぶ宿泊型のセミナーです。

今年度は、遠くは千葉県や山口県から建築などを学ぶ大学生など二五名が参加しました。

開会式では、参加者二五名が、本セミナーに参加した思いを発表しました。建築の材料である木材が生産される現場を見て、森林について学びたいなど抱負を熱く語っていました。

二日目は、土佐町内の間伐を実施した人工林と間伐を学、森林整備の大切さなどについて学びました。



将来、木造住宅建築などの木材利用の推進役となり得る建

その後、土佐町内の原木市場や製材所などを見学し、木材の流通の流れを学び、汗見川ふれあいの郷清流館では、木造の工法や設計などの講義などが行われました。閉会式では、四組に分かれ成果を発表しセミナーが終了しました。

参加者のアンケートには、高知の林業を知って、視野が広がったなどの感想が記述されていました。

平成二二年度「四国山の日賞」団体決定!!

《指導普及課》

四国林政連絡協議会(会長四国森林管理局長)では、平成一八年度から、四国四県との間で締結した「四国の森づくりに関する共同宣言」の趣旨に沿って、四国の森林等をフィールドとして四国の森づくり活動(森林整備の推進、「木材の利用推進」及び「森林環境教育活動の推進」)に積極的に取り組んでいる団体を「四国山の日賞」として選定、表彰しています。

今年度も、四国の森づくり活動に積極的に取り組んでいる団体を募集したところ、四国四県から二三団体の応募があり、八月二七日、林業関係者、環境教育関係者やマスコミ関係者等からなる「四国山の日賞選考委員会」において、厳正かつ公正な審査を行いました。

その結果、森林整備分野が四団体、木材利用分野が三団体及び、森林環境教育分野が三団

将来、これらの学生達が、建築に木材を多く使用し、国産材利用が拡大することを期待しています。

体の計一〇団体を今年度の「四国山の日賞」と決定しました。

なお、決定した団体の表彰は、一〇月三十一日から十一月一日に、徳島県徳島市及び勝浦郡上勝町で開催する「四国の森づくりフォーラムinとくしま」の会場（表彰は十一月一日上勝町高丸山）において行います。

なお、受賞団体は、次の団体です。

【多面的機能の発揮に向けた森林整備分野】

- 特定非営利活動法人三嶺の自然を守る会 (徳島県徳島市)
- かみかつ里山倶楽部 (徳島県上勝町)

- 綾川里山管理同好会 (香川県綾川町)

- 四万十樵塾 (高知県四万十町)

【木材利用推進分野】

- 社会福祉法人池田博愛会 (徳島県三好市)
- 株式会社もくさん (徳島県上勝町)

- 特定非営利活動法人木と家の会 (香川県高松市)

【森林環境教育活動の推進分野】

- 那賀町立木沢小学校 (徳島県那賀町)
- 株式会社大五木材 (愛媛県松山市)

- さめうら工房 (高知県土佐町)

シンメーション
地域の声

森林への誘い (いざない) 活動



えひめ森の案内人会
事務局長 清水 民彌

○設立の経緯

えひめ森の案内人会の発足は、平成一五年五月愛媛県主催の「森の案内人養成講座」を修了した一七名の会員でスタートしました。以降毎年多くの修了生の入会があり、現在の会員数は当会主催の「森への誘い講座」修了生からの入会を含め一〇九名、東・中・南予の県内全域から参加をいただいています。

○会の目的

現在、人々の生活は森林とはまったく縁のないところで営まれているように感じられ、森林に対する関心も低くなっ

ている、ここに来て環境問題、エネルギー問題、教育問題等々大きな壁に突き当たり閉塞感にあえいでいます。こういう状況の中で当会は、広く人々の要請に応じた、様々な知識や技術を持つて行う森の案内や野外活動を通じて、人々が森林とふれあい、森林に学び森林を育てる意識の高揚に寄与したいと考えました。

○会の活動方針

- ① 学校その他団体からの要請に応じた森の案内や野外活動等の計画作成及び実施
- ② 愛媛県等の公的団体が実施する各種関連イベント・研



自然観察会風景



森への誘い講座風景

- ③ 外部・内部講師、実践フィールドによるスキルアップ研修の実施
- ④ 森の案内に関する情報収集・調査
- ⑤ 関連諸団体との交流 etc

○会の活動状況

会員相互の親睦を兼ねた月一回の例会で森のインタープリターとしてのスキルアップ研修の実施。各種団体からの要請による、えひめ森林公園をフィールドに自然観察会のチャーター活動、愛媛森林管理署の支援をいただき久万高原町のボランティア団体とともに、四国カルスト「ケヤキ平」遊歩道沿いに「樹木名板(杭)」の設置。県の受託事業として三年間に亘る、県内に散在する巨樹・名木を訪ね調

査する「えひめの身近な巨樹・名木調査事業」、年間六回構成で、広く一般県民を対象とした森林環境への入門講座「森への誘い講座推進事業」を行っています。また放置竹林の整備や年一回地域の親子を対象としたイベント「つるクラフト」の開催、他ボランティア団体との共催による合同イベント「自然体験フェスタ」などの取り組みも行っているところ。その他年間を通して森の交流センター「県民と森とのふれあいフィールド」の樹木維持管理活動を県との協定書に基づき実施しています。

○今後の活動

当会は一二名の運営員を中心に活動計画を策定し、子供たちへの森林環境教育への企画・実施は勿論のこと、これから第二の人生森林との関わりを持って行動しようとする熟年層の皆さんと、森林の果たす役割等について一緒に考え、知識・技能を磨き、楽しみながら活動をして行こうと考えています。

「えひめ森の案内人会」は、平成二〇年度「四国山の日賞」(森林環境教育活動の推進部門)を受賞されました。